

本日、全日本同和会島根県連女性部の「50周年記念研修大会」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

皆様方には、昭和37年の結成以来、同和問題の早期解決に向け、たゆまぬご努力をいただいておりますことに対しまして、深く敬意を表します。

皆様が歩まれたこの半世紀は、島根の同和問題の解決においても極めて重要な時期でありました。昭和44年の「同和対策事業特別措置法」の制定以来、33年間に渡って実施された生活環境の改善事業など、様々な対策により、同和問題は解決に向け着実に前進してきました。

この間、皆様には、様々なご意見やご協力をいただくなど、県の同和対策や同和教育の推進にご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

全日本同和会のスローガン「子らには させまい この思い」は、島根県連女性部の提案によるものだと伺っております。

この言葉には、理不尽な差別を決して次の世代に残さないという固い決意と、子供たちへの限りない愛情が込められています。同和問題の解決に尽力された先人の方々、そしてその思いを受け継ぎ熱心に活動されている皆様のご努力に改めて敬意を表します。

県といたしましても、「島根県人権施策推進基本方針」に基づき、今後とも皆様と連携し、市町村や広く県民の方々とも力を合わせ、教育や啓発活動等に取り組んでまいります。また、様々な人権問題の解決をめざし、「共生の心」と「人権という普遍的な文化」の醸成に向け力を尽くしてまいります。

終わりに、同和問題の一日も早い解決と差別や偏見のない明るい社会の実現に向け、県連女性部のさらなるご活躍を期待するとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。